

地域密着型サービス評価の自己評価票(2号棟2階)

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・運営規定基本理念決め事十則を掲げている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・運営理念は、見やすい場所に掲示してあり、いつでも確認できるようにしてある。また、入社時、ミーティングには復唱し常に心がけるようにしてある。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・2ヶ月に一度地区長さん、民生委員の方、役所の方、家族の方の出席の元運営推進委員会を開き理念など浸透させている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・近くの方々、子供さんたちとの気楽な会話を交わしたり、遊びに来ていただいたり、夏祭りなど招待している。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・地域の行事には招待を受けており、運動会、お祭り、など積極的に参加している。老人会、地区長さんへの働きかけも行っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・地域のボランティアさんが定期的に来館してくれる。」		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・スタッフミーティングを月一回行っており、それ以外でも緊急時にはその都度ミーティングを開き問題点の解決や対処方法を検討している。その他、他館との交換研修を行っており良い部分は取り入れる体制になっている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・2ヶ月に一回運営推進会議を開き、役所福祉課の方、区長さん、民生委員さん、入居者の方、家族の方と話し合いをしている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・行政や地域に働きかけ、学生の職場体験の場として提供したり、施設見学の受け入れをしている。また、毎月介護相談委員が来館され、入居者への相談などを行って頂いてる。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・必要性がある場合は、市役所との関係を密にし支援していきたい。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・人生の先輩と認識し、業務に携わっている。ミーティング時、申し送りなどを活用し状況を把握している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約、解約の際には家族に十分な説明を行い納得して頂き同意を得ている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・利用者との意見交換を頻繁にし、そこから考えをくみ取ったり、直接的意見を聞くようにしている。 ・介護相談委員の方の訪問があり聞いて頂いてる。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・毎月家族に新聞を発行し個別に情報をお知らせしている。 又、必要時にはその都度連絡相談させて頂いてる。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・面会時には、ゆっくり話が出来た環境作りを行っているが、苦情・相談窓口であり、随時受け付けている。 ・ホームに対してのアンケートを実地しており率直な意見を反映させている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・入居者の受け入れ、継続の可否等はスタッフの意見を聞き入れながら取り組んでおり、スタッフ同志のコミュニケーションを密にとり、職員の意見など聞く機会を設け、反映させている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・利用者の状況や生活の流れを支援するために、勤務のローテーションを組んでる。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・スタッフの移動は必要最小限とする。 ・異動がある場合は移動先のユニットに出向き利用者へのダメージを最小限に抑え交流も行っている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	○	・ヘルパー卒業生への参加 ・社内研修の感想などの提出
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・相談を受けた時には、その人に合ったサービスを受けられる様努めている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・身体状況、生活暦、性格、趣味など情報を職員が把握し、利用者の使い慣れたタンスや生活用品を持ってきて頂き、空間作りをしている。	○	・本人の希望する物等は、誕生日会などを利用し出来る範囲内でのサービス(プレゼント)を行っている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・人生の先輩である事を念頭におき、昔の言い伝えや料理など一緒に作ったり教えてもらっている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・年に一度の一泊旅行や行事などに参加して頂ける様支援し、家族へ相談連絡、報告をしている。 ・ユニットだよりを月に一度、送付している。	○	・ユニット便りにはなるべく今の利用者の状況が分かる内容や、写真なども同封している。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・本人と家族の状況を把握し、いつまでもよりよい関係が築ける様連絡を密に取り、行事などに参加してもらえる様になっている。	○	・夏祭り、クリスマス会等の参加
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・希望があれば家族に連絡を取り、お手紙や電話をかけた時、会いに行きたい時は一緒に外出できる様にしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・職員が上手に中に入り、自然とコミュニケーションがとれるように努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・事業により、退去になってしまった家族の方も、いつでもお立ち寄り頂けるよう付き合いをしている。 ・お便りや電話などで利用者の交流を保てるよう支援している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・個人の話を傾聴し、本人の希望を見出し把握している。 又、意思表示の困難な方にはその人らしい生活が送れるよう支援している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・全スタッフが利用者の生活歴を把握している。 ・個人個人の得意とする事を見極め、それを率先してやっている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・ケース記録、健康管理表や申し送りを活用し現状を把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・本人や家族の意見を取り入れ、より良い生活が送れるよう作成している。又、その都度気づいた事は話し合い、介護計画書の作成見直しに反映させている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・6ヶ月毎に見直しを行い、介護度が変わった時や状態が変化した時、又、退院した時は介護計画の見直しをしている。 ・毎月担当者会議で、課題などはモニタリング用紙を使い、プランに反映させている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日中や夜間など一日通しての様子をケース記録や申し送りに記入し情報を共有している。、業務日誌も活用し全スタッフが把握し介護計画見直しにも活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・グループホーム、有料老人ホーム、介護付き住宅があり、利用者の身体状況に応じた対応を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・ボランティアの受け入れや地域の人達の学習の場として提供したり、小中学校、高等学校にも働きかけている。	○	・地域の人達が気軽に来館できるような環境作りを行っている。(公園など)
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・市主催の連絡会議に参加し、病院やサービス事業への営業も行っている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・地域密着を念頭におき、地域包括支援事業者と情報交換を行っている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・利用者や家族の希望の上で、医療機関に受診している。又、医師の紹介状により医療機関と連携がとれる体制が整っている。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・指示や助言をしてくれる医師を複数確保しており、いつでも連絡相談が出来る体制になっている。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・往診、通院にて気軽に相談し合えるようにしている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・定期的に面会に行き、担当医師から病状説明を受けており早期退院に向けて、連携をとっている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・ターミナルケアに関しては利用者入居時に確認しており、その後は、医師や家族と連携をとり最善の方法を取れるようにしている。 ・事前にナースを交え、ターミナルについてのカンファレンスを実地している。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・その人らしい生活を送って頂き、体調の変化時にはすぐに医師と連絡が取り合えるように、チーム支援を行っている。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・入居者、家族・関係者との情報交換を行い、入居前と変わらぬ環境を整え、ダメージの軽減を図れるように努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・人生の先輩であるという事を意識し、気遣い、尊敬の念を持って対応している。 ・記録個人情報は、鍵付きロッカーへ管理している。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・各入居者一人一人に耳を傾け、信頼関係が築けるよう心がけている。又、自己決定に関しても個人の意見などを尊重している。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・生活に余裕を持ち、本人のペースに合わせて保てるように支援している。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・入居者一人一人の希望(好みなど)に合わせた上でおしゃれが出来るように支援している。 ・希望があれば移動理容室を利用している。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・入居者の好みなどを取り入れた献立作りを心掛けている。 ・職員、入居者と一緒にコミュニケーションをとりながら食事をしている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・飲み物は本人の訴えに合わせ、好みの物を日常的に出している。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・入居者の排泄パターンを記録し、個人に合わせ排泄の誘導を行っている。又、トイレの場所がわかるようにしている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入居者の希望とする時間、タイミングに合わせて入浴して頂いてる。また、入浴剤を入れ、リラックス出来るように心掛けている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・一人一人の状況に応じ、眠りが浅い人、眠れない人には毎日入浴して頂き、体を温めることで安眠策をとっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・家事、掃除、ゴミ捨てなど利用者一人一人が役割を持ち、張り合いのある生活を過ごしている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・トラブル防止の為に、本人・家族に理解していただき、入居者の金銭管理は行っていない。		・希望の品物がある場合には、1人ほとりの力量を考慮したうえで、自ら購入が出来るよう支援して行きたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・入居者の要望を出来るだけ聞き、スタッフ付き添いではあるが、外出されるのは可能である。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・月に一回各ユニットでのイベントがある。 ・入居者や家族が楽しく参加出来る様に年に一度、夏祭りや一泊旅行などに出掛けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話や手紙は、いつでも利用できるようにしている。また、家族の方にも進んでして頂いている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・いつでも訪問してもらえるような環境作り、行事などがある時は、参加して頂き居心地よく過ごしていただいている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・見守りながら目配りをし、身体拘束のないケアを全スタッフが心がけている。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・状況に応じて、日中鍵をかける事はないが、夜間は防犯上かけている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・必ずスタッフが一人、ホールにいるようにし見守りを行っている。又、利用者の所在や様子も把握している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・物の保管をする際は常に危険性を認識し、鍵が付いている棚などに保管している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・全スタッフが危機感を常に持ち仕事を行っている。 ・緊急連絡網や対策マニュアルがあり、対応できるようになっている。他ユニット間でアクシデントやヒヤリハットの情報を共有し再発防止に努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・スタッフは二年に一回必ず救命救急の講習を受けている。又、応急処置のマニュアルをいつでも見れるようにわかりやすい所においてある。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・避難訓練を年二回行い、全スタッフが緊急時の対処法を理解し身に付けている。又、地域とのかかわりも強く持っている。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・利用者によって転倒や誤嚥など色々なリスク、危険性がある為、そのような状況に備えて家族には常に話をしている。又、危険だから禁止するのではなく、どうすれば入居者に圧迫感のない生活を送ってもらえるかを常に考えている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・毎朝のバイタルチェックを行うと共に、要観察し、日々の様子の变化に注意し、気付いた際は申し送り帳などを活用し、情報を全スタッフで共有して対応している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・全スタッフが薬の内容を理解し、投薬介助・管理などが出来るように周知している。薬の変更時は、医師と連絡を取り、誰でも対応できるようになっている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・水分補給や食物繊維の多い食品を食事に取り入れている。 ・便秘時のマニュアルがあり全スタッフで理解している。また、薬のみに頼らず乳製品など飲んでもらい様子を観察している。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後、利用者に応じた口腔ケアを行っている。状況に応じた介助を行い、清潔保持に努めている。 ・月二回、歯科往診がある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・体調不良や常時水分摂取量が減っているきている利用者に関しては、水分チェック表を用いて把握に努めている。	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・スタッフ全員が感染症に対する知識を理解し、又、マニュアルも活用している。職員以外、来客者に対してもうがい、手洗い、ウエルパスを使用して頂いている。	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・栄養士の先生にチェックしていただいたり、調理器具の使い分け、食材の日付け記入をしている。	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・季節の花を花壇に植えたり、玄関を明るくできるようにしている。来館者も気軽に出入りしやすい環境作りをしている。	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ホールに写真や絵を飾ったり、季節感を感じてもらえるよう季節の花を飾ったり、今日の行事を掲げている。	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ホールにはソファを置き、和室に夏はテーブル、冬はコタツを置き、利用者同士で話しの場を持てる環境作りをしている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを 活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている	・使い慣れた家具や生活用品を持ち込んでもらい、個人個 人の過ごしやすい居室作りをしてもらっている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差が ないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめ に行っている	・一日何度か換気を行い、空調は身体の状態や天気のみて 調節している。冬などは加湿器を用い、温度、湿度調整を 行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れ るように工夫している	・バリアフリーになっており、全体に手すりがついている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	・清潔感を心がけ、誤認や錯覚、アクシデントの原因になる 物は置かない。又共有スペースにはわかりやすく表示してあ る。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	・外には花壇があったり、芝生が敷きつめられた公園がある。 ・洗濯物が干せるようになっているので、一緒に干したりして いる。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・明るく楽しく、自分らしく生活することを第一に考えて、毎日笑顔でいることを大切にしています。
- ・散歩や外出など外に出る機会をもうけ、地域の方との交流を多くもつように努めています。
- ・誕生日会などレクリエーションを増やすようにして、楽しい時間を過ごしてもらえるようにしています。